

はなし【話・噺】(名) (動詞) はなす(話)の連用形の名詞化。①はなすこと。語ること。談話すること。会話。おしゃべり。*淨瑠璃・女殺油地獄・上・小菊めが帰るを待て一出入と、咄の内から二人のつれ。*詞葉新雅・ハナシスルかたる。かたらふ物かたりする。貴人ナドノハナシシ玉ヲおふせことあるナドカクヘン。*多情多恨尾崎紅葉前・五・二それだけ賑に十時頃まで雑談(ハナシ)をして。②解決したり、まとめたりするために話し合うこと。話し合い。談合。相談。また、交渉。*読本・通俗古今奇観二・二官人、ちよと説話(はなし)申したし。*歌舞伎・纏雑石尊臨中幕・話の纏まる事ならば人の噂も七十五日。欲ところぶが当世かの。*くれの廿八日ノ内田魯庵二・夫婦が和熟すれば寝物語に田滑(まるく)相談(ハナシ)が成効(で)きる事だ。*鱧の皮上小剣五。*此方が話に乗ると思つてよるのか知らん。③ひとづきの内容をもつて人に聞かせること。④おとしはなし。*浄瑠璃・京羽二重娘氣質一・祇園の社年旧(ふり)て、吟時参下向の人群集、咄(ハナシ)万歳軍書説。*雑俳・柳多留一〇二・咄しの寄せも四文出す草履札。*口説話。演説。*うそまこと見立角力。*手島先生はなし。④語られる内容。物語のすじ。⑤話題。*虎寛本狂言・成上り「扱何も珍らしい咄しはなかつたか」。*多情多恨尾崎紅葉前・二・葉山は故と話頭(ハナシ)を転して。*くれの廿八日ノ内田魯庵二・寄ると触ると此話頭(ハナシ)で持切りあるた。⑥談話の内容。ある人の話つたこと。*歌舞伎年代記凡例・故人知因の役者の談話(ハナシ)を伝に加へ。*開化はなし(辻弘想下・三・人間職分の欠ぬ様に、されよと、其先生の談話(ハナシ)で御座りました)。⑦説話。伝説。昔ばなし。また、童話。おとぎばなし。⑧語られる内容。物語のすじ。*板上殿の狐狸公事の咄(ハナシ)をさせ。*狐の裁判井上勳訳五・五之に能く似たる話説(ハナシ)あり。往時思なる娃ありて。*はやり貝小杉天外五・三・村に古くから言伝へられた譯(ハナシ)に據れば。⑨物語。小説。*小説神髓・坪内逍遙下・脚色の法則「話頭(ハナシ)の筋の都合によりて」。⑩つくりばなし。虚構のこと。*大阪の宿永上滝太郎一・五・三・三田公の一目惚なんか全く話だ。⑪うわさ。評判。人から聞いたこと。*吾輩は猫である夏目漱石二。⑫何でも主人より立派になつて居るといふ話。*阿でも主人より立派になつて居るといふ話。⑬事件。事情。わけ。*義血俠血(泉鏡花一〇)。⑭今の頼末(ハナシ)と云ふのを聞いて下さい。⑮演劇で、上演脚本が決定すると、その稽古をはじめ前に、作者、演出者などが、一座の者を集め、その脚本を読みかきかせること。本読み。*役者論語(耳藤集下・京右衛門、へ略)かりにもはなしの場にて、あしきとは申されず。⑯(形式名詞)のように用いて。こと。*吾輩は猫である夏目漱石五・五・吾輩は長い穴の出口で待つて居らねばならん随分気の長い話だ。⑰(動詞)はなす(話)の語源説。⑱(動詞)はなす(話)の語源説。⑲(動詞)はなす(話)の語源説。

- 用例の増補 (特に初出) と成立年・刊行年の表示
- 語義・用法の増補
- 「語誌」欄と「同訓異字」欄の新設
- 「古辞書」に『日葡辞書』と『和英語林集成 (再版)』を加えて「辞書」欄に。

質(88)⑧(9)坪内逍遙一〇(1)どうも車の乗ッ放(バナシ)して、無言で逃るといふ訳にもいまい。*付焼刃(6)⑨(幸田露伴)一・度々蠶尾(ちそう)になり放(バナシ)なので気になつて居たところでは有り。*不在地主(6)⑩(小林多喜二)八ノハ源の馬はびつそりとした通りに、次の朝までつなげられ放(バナシ)したつてゐた。はなし【話・噺】(名) (動詞) はなす(話)の連用形の名詞化。①はなすこと。語ること。談話すること。会話。おしゃべり。*浄瑠璃・野郎虫(6)②田中左門(はなし)をすす事すき也。一座のとりもも、おくれぬ人なり。*浄瑠璃・女殺油地獄(6)③上・小菊めが帰るを待て一出入と、咄の内から二人のつれ。*詞葉新雅(6)④「ハナシスルかたる。かたらふ物かたりする。貴人ナドノハナシシ玉ヲおふせことあるナドカクヘン」。*幼学読本(88)⑤(西郷貞)四ノ四によりてかたる者は只旗印のみならず。平日はなしに使ふことばも亦異なり。*多情多恨(88)⑥(尾崎紅葉)前・五・二それだけ賑に十時頃まで雑談(ハナシ)をして。⑦解決したり、まとめたりするために話し合うこと。話し合い。談合。相談。また、交渉。*通俗古今奇観二(6)⑧(二官人、ちよと説話(はなし)申したし)。*歌舞伎・纏雑石尊臨中幕・話の纏まる事ならば人の噂も七十五日。欲ところぶが当世かの。*くれの廿八日(88)⑨(内田魯庵)二・夫婦が和熟すれば寝物語に田滑(まるく)相談(ハナシ)が成効(で)きる事だ。⑩ひとづきの内容をもつて人に聞かせること。⑪おとしはなし。*浄瑠璃・京羽二重娘氣質一(6)⑫(祇園の社年旧(ふり)て、吟時参下向の人群集、咄(ハナシ)万歳軍書説。*雑俳・柳多留一〇二(88)⑬咄しの寄せも四文出す草履札。*口説話。演説。*うそまこと見立角力(88)⑭(うまか)手島先生はなし。⑮語られる内容。物語のすじ。⑯話題。*虎寛本狂言・北条重町末(近世初)⑰(うまか)手島先生はなし。⑱語られる内容。物語のすじ。*浄瑠璃・京羽二重娘氣質一(6)⑲(祇園の社年旧(ふり)て、吟時参下向の人群集、咄(ハナシ)万歳軍書説。*雑俳・柳多留一〇二(88)⑳咄しの寄せも四文出す草履札。*口説話。演説。*うそまこと見立角力(88)㉑(うまか)手島先生はなし。㉒(うまか)手島先生はなし。㉓(うまか)手島先生はなし。㉔(うまか)手島先生はなし。㉕(うまか)手島先生はなし。㉖(うまか)手島先生はなし。㉗(うまか)手島先生はなし。㉘(うまか)手島先生はなし。㉙(うまか)手島先生はなし。㉚(うまか)手島先生はなし。㉛(うまか)手島先生はなし。㉜(うまか)手島先生はなし。㉝(うまか)手島先生はなし。㉞(うまか)手島先生はなし。㉟(うまか)手島先生はなし。㊱(うまか)手島先生はなし。㊲(うまか)手島先生はなし。㊳(うまか)手島先生はなし。㊴(うまか)手島先生はなし。㊵(うまか)手島先生はなし。㊶(うまか)手島先生はなし。㊷(うまか)手島先生はなし。㊸(うまか)手島先生はなし。㊹(うまか)手島先生はなし。㊺(うまか)手島先生はなし。㊻(うまか)手島先生はなし。㊼(うまか)手島先生はなし。㊽(うまか)手島先生はなし。㊾(うまか)手島先生はなし。㊿(うまか)手島先生はなし。